

【達成状況に関する評価基準】※運営に関する計画の評価基準と同じ
A : 目標を上回って達成した B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

黄色塗り部分は決算報告時に記載
(配付申請時は記載不要)

様式1

令和2年度 校長経営戦略支援予算【基本配付】配付申請書

(校園コード 681511)

※校園コードを入力してください。

取組に対する評価状況

学校名 古市小学校

学校関係者による評価実施済

※学校名は校園コードを入力すると自動で表記されます。

1 配付額 980,000 円

→ 決算額

979,552 円

2 配付上限額

学校配当	学級数	特別支援学級数	学級配当
350,000	+ 13学級	+ 8学級	× 30,000

※カッコ内に学級数を入力してください。色付きセル部分は自動計算されます。

配付上限額

= 980,000

3 年度目標(予算反映するもののみ記載)

<全市共通目標>

- ①令和2年度年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- ②令和2年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も1ポイント減少させる。
- ③令和2年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント増加させる。
- ④令和2年度の小学校学力経年調査（校内調査）における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童（生徒）の割合を、前年度より増加させる。

<学校園の年度目標>

- ⑤令和2年度の校内調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童（生徒）の割合を70%以上にする。
- ⑥令和2年度の校内調査において、学校が楽しい（どちらかといえば楽しい）」と答える児童を80%以上にする。
- ⑦学習に対する興味・関心を高めるために、教科の学習に関連した体験学習を取り入れる。

目標に対する達成状況(取組完了時)

達成

- ①各学年の単元テストの平均正答率を同一母集団で比較した結果、どの学年も前年度よりも向上した。
4年…78.5→79.6 5年…81.5→84.0 6年…82.1→88.1
- ②各学年の単元テストの平均正答率の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較した結果、どの学年も前年度より2学年で1ポイント以上減少した。
4年…6.8→4.1 5年…2.5→2.6 6年…7.6→2.6
- ③各学年の単元テストの平均正答率を2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較した結果、どの学年も前年度を上回らなかった。
4年…4.1→2.7 5年…0.0→0.0 6年…0.0→0.0
※学力経年調査の結果が出ていないため、単元テスト等の結果による。

B

- ④校内調査において、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答した児童（生徒）の割合は、低学年が86%、高学年が65%となり、平均して1ポイント前年度より增加了。
- ⑤校内調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的な回答は、低学年では81%で目標を達成したが、高学年では68%と目標にはおよばなかった。
- ⑥校内調査において、学校が楽しい（どちらかといえば楽しい）」と答えた児童は、低学年で94%、高学年で88%と目標を達成した。
- ⑦学習に対する興味・関心を高めるために、教科の学習に関連した体験学習を各学年で取り入れることができた。

4 年度目標達成に向けた取組内容(予算反映するもののみ記載)

(5)(6)(7)児童の自尊感情・他尊感情を高めるための手立てとして、自然体験学習、たてわり班活動、異学年交流や地域との交流を継続して実施する。「他者への奉仕（ボランティア活動）」「助け合い・学び合い」「いいところ見つけ」などの活動を各学年で取り組むとともに、芸術鑑賞会や、委員会活動で花を育てる通じて、豊かな心の育成を図る。 ①②③補助教材の効果的に活用し、基礎的・基本的事項の習得を図るとともに、全学年共通テストにおいてその定着度をはかる。 ④ICTを効果的に活用した授業改善に積極的に取り組み、対話的な学びの充実を図る。

5 年度目標に対する進捗状況を測る指標

(5)(6)(7)生活指導連絡会の記録での指導者からの評価や、各アンケートや生活カードでの自己評価、児童同士の相互評価などにより達成状況の確認を行う。 ①②③全学年共通テストを実施し、平均正答率を75%以上にする。教科横断的な取り組みを全学年行い、掲示板などを使って交流させる。3年生以上の学年で、体験的な学習を年に1回以上行う。 ④全教員が研究授業もしくは公開授業を年に1回行う。令和2年度の小学校学力経年調査（校内調査）における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童（生徒）の割合を、前年度より増加させる。
--

指標に対する達成状況(取組完了時)	達成
(5)(6)(7)感染症拡大による学校行事の削減や変更により、十分な自然体験学習、たてわり班活動、異学年交流や地域との交流などを実施することができなかった。しかし、生活指導連絡会での情報共有をもとにした教職員の児童への肯定的な声掛けや、各アンケートによる児童自身の振り返りなどを丁寧に行つたことで、校内調査において「自分にはよいところがある」の問い合わせに対する肯定的な回答が高学年において11ポイント増加した。 ①②③全学年共通の計算ドリルや漢字ドリルを導入し、計画的に反復練習を行った結果、児童の基礎基本の学力の定着が見られた。また、カラー刷りのテストなど導入し、白黒資料の読み取りにくさ等の従来のテストの課題を軽減した結果、本来の理解度を検証することができるようになつたことで、各学年の単元テストの平均正答率が75%以上に向上した。感染症拡大により、各学年での教科横断的な取り組みの交流は十分できなかつたが、3年生以上での社会見学等の体験的な学習は、年に1回以上行うことができた。 ④全教員が研究授業もしくは公開授業を年に1回行うことができた。校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童（生徒）の割合は、低学年で87%、高学年で82.6%と前年度より向上した。	B

※事業効果は必ず数値目標を設定のうえ、進捗状況を測ることができる内容としてください。

6 昨年度からの改善点など ※自由記入

特になし

【裏面に続く⇒】

7. 取組内容・予算内訳

(1)取組内容【施策番号 施策名】 【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 ・校外体験学習の実施	事務局使用欄	達成 C
--	--------	---------

①予算内訳 11-1 3年 くらしの今昔館見学交通費 @192×63=12,096 08-5 3年 くらしの今昔館見学付添分交通費 @414×5=2,070 08-5 3年 くらしの今昔館見学下見交通費 @460×2=920 11-1 4年 庭窪浄水場交通費 @192×79=15,168 08-5 4年 庭窪浄水場付添交通費 @384×5=1,920 08-5 4年 庭窪浄水場下見交通費 @460×2=920 11-1 5年 読売新聞、タスカル見学交通費 @304×80=24,320 08-5 5年 読売新聞、タスカル見学付添交通費 @666×5=3,330 08-5 5年 読売新聞、タスカル見学下見交通費 @740×2=1,480 11-1 6年 大阪国際平和センター見学交通費 @224×79=17,696 08-5 6年 大阪国際平和センター見学付添交通費 @504×5=2,520 08-5 6年 大阪国際平和センター見学下見交通費 @560×2=1,120	事務局使用欄	
---	--------	--

(2)取組内容【施策番号 施策名】 【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 ・公開授業の実施 ・研修会の実施	事務局使用欄	達成 B
---	--------	---------

①予算内訳 7-1 公開授業講師謝礼 7,100×2 h @14,200×1=14,200 7-1 3年外国人教育研修会講師謝礼 4,300×1:45 @8,600×1=8,600	事務局使用欄	
--	--------	--

②決算内訳 7-1 3年外国人教育研修会講師謝礼 @7,500×1=7,500	事務局使用欄	
--	--------	--

(3)取組内容【施策番号 施策名】 【施策2 道徳心・社会性の育成】 ・お話会の実施 ・芸術鑑賞の実施	事務局使用欄	達成 B
--	--------	---------

①予算内訳 7-1 お話会講師謝礼 4,300×2 h @8,600×1=8,600 12 芸術鑑賞 @250,000×1=250,000	事務局使用欄	
---	--------	--

②決算内訳 12 芸術鑑賞(音楽) @250,000×1=250,000	事務局使用欄	
---	--------	--

(4)取組内容【施策番号 施策名】

事務局使用欄

達成

【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】

- ・ICT機器等の積極的な活用による授業改善

A

①予算内訳

17-2	テレビ60V	@180,000×1=180,000
10-1	保護パネル	@37,690×1=37,690
17-2	テレビスタンド	@60,000×1=60,000

②決算内訳

17-2	テレビ60V	@130,000×1=130,000
10-1	保護パネル	@28,000×1=28,000
10-1	テレビスタンド	@38,000×1=38,000
17-2	校内デジタルAV放送システム	@55,000×4=220,000

(5)取組内容【施策番号 施策名】

事務局使用欄

達成

【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】

- ・朝の学習、全学年共通テストの実施

A

①予算内訳

10-1	学習プリント代（国語科）	@3,000×6=18,000
10-1	学習プリント代（社会科）	@3,000×6=18,000
10-1	学習プリント代（算数科）	@3,000×6=18,000
10-1	学習プリント代（理科）	@3,000×6=18,000
10-1	単元テスト（社会科）	@870×305=265,350

②決算内訳

10-1	教科書算数プリント（1年～6年）	@1,703×6=10,218
10-1	算数習熟プリント（1年）	@1,617×1=1,617
10-1	豊かな読解力がつく国語プリント（1年）	@1,509×1=1,509
10-1	今すぐ使える算数プリント（1年）	@1,940×1=1,940
10-1	小学国語習熟（1年）	@1,509×1=1,509
10-1	豊かな読解力がつく国語プリント（2年）	@1,509×1=1,509
10-1	くりかえし練習帳（2年）	@582×1=582
10-1	リズムで覚える漢字学習（全学年）	@1,940×1=1,940
10-1	まるごと読解力 文学作品（3年）	@2,867×1=2,867
10-1	まるごと読解力 説明文・詩（3年）	@2,566×1=2,566
10-1	くりかえし練習帳（4年）	@582×1=582
10-1	理科習熟プリント（4年）	@1,617×1=1,617
10-1	社会習熟プリント（白地図）	@1,617×1=1,617
10-1	今すぐ使える算数プリント（4年）	@1,940×1=1,940
10-1	5分間計算ドリル（4年）	@545×1=545
10-1	5分間理科ドリル（4年）	@545×1=545
10-1	くりかえし練習帳（5年）	@582×1=582
10-1	理科習熟プリント（5年）	@1,617×1=1,617
10-1	社会習熟プリント（5年）	@1,617×1=1,617
10-1	朝学プリント計算（5・6年）	@1,940×1=1,940
10-1	朝学プリント英語	@1,940×1=1,940
10-1	まるごと宿題①②（6年）	@2,673×1=2,673
10-1	豊かな読解力がつく国語プリント（6年）	@1,509×1=1,509
10-1	算数習熟プリント（6年）	@1,617×1=1,617
10-1	理科習熟プリント（6年）	@1,617×1=1,617
10-1	社会習熟プリント（6年）	@1,617×1=1,617
10-1	B4 PPC用紙（500枚入×5包）	@4,180×1=4,180
10-1	単元テスト（3年）	@300×123=36,900
10-1	単元テスト（4年）	@330×75=24,750
10-1	単元テスト（4年）	@320×75=24,000
10-1	単元テスト（5年）	@290×234=67,860
10-1	単元テスト（6年）	@290×229=66,410